

## 第10回 周南市スマートシティ推進協議会 議事要旨

■日 時：令和6年5月28日（火）15:30～16:50

■場 所：周南市役所 庁議室

■出席者：下表の通り

所属・団体名	役職	氏名	区分
東京大学大学院 工学系研究科	教授	羽藤 英二	学識経験者
周南公立大学 情報科学部	准教授	児玉 満	
徳山工業高等専門学校 情報電子工学科	准教授	柳澤 秀明	
徳山商工会議所	指導課主任	船井 辰郎	関係団体を代表する者
周南市社会福祉協議会	業務課地域福祉係長	竹重 紀代美	
周南市コミュニティ推進連絡協議会	副会長	加藤 洋	コミュニティ組織を代表する者
周南市コミュニティ推進連絡協議会		黒神 充久	
山口県企画部デジタル推進局	デジタル統括監	田中 貴光	オブザーバー
周南緑地PFI事業者 (洋林建設株式会社)		山川 英一郎	

### ■配付資料

1. 第10回周南市スマートシティ推進協議会配席図
  2. 周南市スマートシティ推進協議会委員名簿
  3. 第10回周南市スマートシティ推進協議会資料
    - 資料1 今年度のモデル地区での取組について
    - 資料2 今年度の市の取組について
    - 資料3 地理空間情報利用推進事業について
    - 資料4 ごみ拾い SNS とごみ分布状況の可視化の活用について
    - 資料5 窓口業務改革について
- 参考資料

## ■要 旨

### 1. 開会

(事務局)

- ・ 本日は、委員 8 名中 7 名の出席をいただいておりますので、周南市スマートシティ推進協議会設置要綱第 6 条の規定により、本会議が成立していることを報告させていただきます。
- ・ 会議の開催にあたり、企画部長の川口よりご挨拶を申し上げます。

### 2. 挨拶

(事務局 企画部 川口)

- ・ 本日はお忙しいところ、また足元の悪い中ご出席いただき、ありがとうございます。
- ・ 本協議会は、科学技術等の急速な発展に対し、社会的課題の解決と経済的発展の両立を実現するため、先端技術やビッグデータ等を積極的に活用したスマートシティの推進に向け、委員の皆様からご意見をいただきながら官民が一体となってスマートシティを実現するために設立しました。
- ・ 本協議会も 4 年目となります。皆様から意見を賜り、少しずつではありますが、モデル地区をはじめ、市役所の中でもスマートシティの取組が広がってまいりました。
- ・ 今後は、さらにこの取組を加速させるとともに、継続的にスマートシティを推進するための仕組みを構築する段階に入ってきております。
- ・ 引き続き皆様の忌憚ないご意見を賜りますようお願いいたします。

### 3. 議題

(会長)

- ・ 2024 年度に入りましては第 1 回目、トータルでは 10 回目の会議となっております。
- ・ メンバーの中では、このスマートシティというものについて理解も相当進んできたことと思いますし、地元での様々な取組も進んできたことと思います。
- ・ そういうところを踏まえながら、今年度の取組についてというところと、もう 1 歩 2 歩進めた、仕組みとして横展開していくうえでどういうことが必要なのかといったこともぜひ今日議論できればと思っておりますので、各立場、あるいは一市民としての立場から貴重なご意見をいただけたらと思っております。
- ・ それでは、議事 1 から事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

(今年度のモデル地区の取組について説明)

(会長)

- ・ ここまでのご説明について委員の皆様からご意見はございますか。昨年度 LINE などを使ってスマートシティの取組を立ち上げて、地元での実験等も踏まえた上で、今年度仕組みの実証というところだと思うんですけども、いかがでしょうか。
- ・ なかなか抽象度が高いのでコメントが難しいとは思いますが、昨年度の取組で気づいた点など、そういったところからぜひお言葉をいただけたらと思っていますが、いかがでしょうか。

(委員)

- ・ まずは、LINE の試行を行うということで、テストの時期ではあるんですけども、まだまだ住民の皆さんにスマートシティの意義とか今後の方針とかがうまく伝わっていないという気がします。
- ・ 今年度はそのあたりを踏まえて、今から計画的に周陽地区のスマートシティ推進のためのいろいろな方策を今年度・来年度にわたって考えていきたいと思えます。
- ・ できれば来年度で完全に着陸できるぐらいのことをやっていければと考えています。

(会長)

- ・ 実験が始まったというところは評価できるころだとは思いますが、さらに知名度というか、関心を高めていくための取組を、ぜひ今年度の取組の中でも工夫できないかというところのご指摘だろうと思います。

(委員)

- ・ 地区の LINE アカウントを継続していただけるということでまずは安心しているところです。まだ、LINE に登録しているメンバーの数が、せっかく作っていたきながら、まだまだ加入している人間が少ないので、そのあたりはもっと人数が増やせるように活動していきたいと思っています。
- ・ これまで地区の意見であったり、ワークショップを3年にわたって行ってきて、今回ようやく企業の方の参画とかそういったところが出てきましたので、これから進んでいくんだなというのを今思っているところです。
- ・ 資料のスケジュール感が見えてきたら、ありがたいと思っています。

(会長)

- ・ ある程度、数というか参加する方々の数値的などところも、目指していけるところをもってやっていくということも大事であるということの提案であると思いま

す。そうしたところもぜひ仕組み化というところで動かしていく際に、単純にアクセス数だけではないと思いますが、地元の方が積極的にどれぐらいそれを通じて参加して下さったかをチェックしながら更新していける、より良い周南市のスマートシティを目指していくことができたらというご提案だと思います。そのあたり考慮しながら、今年度また進めていければと思います。

- ・ モデル地区での取組については地元からのご意見をいただいたところですが、今年度の市の取組についても、他の委員の皆様からもこんなことに気を付けてやっていったらいいのではないかなど意見をいただけたらと思いますので、引き続き事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(今年度の市の取組について説明)

(会長)

- ・ 安全安心、医療・福祉、学び・子育て、暮らし、産業等の今年度の市の取組ということで、委員の皆様も関わっている分野もあろうかと思いますが、ぜひ順番にコメントいただけたらと思います。

(委員)

- ・ いろいろオンラインシステムなどが動き始めていると思いますが、利用率がどんな感じなのか教えていただけますか。

(会長)

- ・ 事務局から回答できますか。

(事務局)

- ・ スポーツ開放施設予約システムについては、昨年度末の利用状況で、システムに登録していただいた団体は14団体となっております。試験導入ですので数は少ないかもしれませんが、利用申請件数としてはその時点では8件と聞いています。
- ・ 粗大ゴミ収集のオンライン申込については、時期が繁忙期であるため、数値がどれほどの意味をもつかは難しいとのことですが、オンライン申請の数としては180件程度と聞いています。
- ・ 利用率はまだ出せていないというのが現状です。

(委員)

- ・ 件数をそれぞれ調べておけば、今後数値が増えた、減ったということで利用者が増えた、減ったということもわかると思いますし、どのように運用をしていけば

よいのかという指標にもなるかと思しますので、ぜひデータをとっていただけたらと思います。

(会長)

- 先ほどの指摘にもつながるコメントだったと思います。数とか利用率とかインデックスで見れるようにしていくという重要なご指摘だったと思います。

(委員)

- オンライン化が着実に進んでいるというところと、今年度デジタル関連の取組の行政のところにもノーコード業務改善ツールの導入等々ありますので、前の資料の学校との連携等々も含めて困り事があるなどをまとめてもらえたら、創造演習・創造製作という授業とか、今年度から1・2年生対象にsteam教育、学科学年を問わず議論をする取組をしておりますので、授業の中で課題を議論する機会をいただけたら学校と市の協力にもつながるのではないかと感じました。

(会長)

- 課題を議論する場がないとブラッシュアップされていかないということだろうと思いますので、そういったことを今年度の取組の中でフィードバックをいただくようなところを強化していったらどうかというところのご提案、これも考えていただければと思いますので、事務局の方でご検討いただけたらと思います。

(事務局)

- いただいたご意見を今後の事業に活かせるように検討していきたいと思っています。

(委員)

- 様々な取組、オンライン申請など便利になること自体は非常に良いことだと思いますが、オンライン化は手段ですので、オンラインを導入したからといってすべてきれいに解決されるかというところは難しく、それに対する理解だったり、そもそもオンライン申請やサービスを住民にどこまで周知、参加できるかというところも非常に大事なところだと思います。やること自体は素晴らしいんですけど、それに対しての住民の理解だったり、こういうサービスをどれだけ認知していただけるかというところが非常に大事だと思いますので、そのあたりの広報というところが大事になってくると思います。一般の方だとなかなかわからない方もいらっしゃると思うので、その辺の周知が大事かなと思いました。

(会長)

- ・ 周知というところ、例えばETCも一般化されていますが、100%にはならないんですね。やっぱりスマートシティをいくらやってもなかなか使ってくれない人がいることも事実ですし、我々自身が情報をどれぐらいの寛容さをもって使いこなしていくのかというところについては、周南市なりの態度も非常に重要ではないかという委員からの指摘は極めて重要なご指摘だと思います。
- ・ 闇雲に高い目標値を上げるということでもいけないということもあるでしょうし、かといって届いていない人への配慮も重要ということもあるので、周知を諦めないということもまた重要であるというところをよく意識しながら適切なスマートシティの取組をやってほしいというご指摘かと思います。

(委員)

- ・ 医療と福祉のところにデジタル関連の取組があるということがすごく嬉しいことだと思っています。これがうまくいけば、いろんなところに派生して、継続的に診療を受ける体制ができればどれほど助かる人がいるだろうという思いがします。
- ・ 高齢者は運転ができなくなったり、移動手段がない、タクシー代がかかるなどいろいろな理由がある中で、診療を受けたくても受けられない人のためにこういったことができいくのがすごくありがたいと思いました。
- ・ 医師が出張される頻度などわかる範囲で教えていただけたらと思うのが1つと、学び子育ての小学校でのGISを活用したマップ作りのところで、今年度モデル地区に指定されている2校を可能であれば教えていただけたらと思います。

(会長)

- ・ 2つご質問があったかと思いますが、事務局からできる範囲で答えていただけますか。

(事務局)

- ・ 医療分野でのご質問については、担当部署より詳細については後日発表させていただきますので、この場ではお答えすることができません。
- ・ 小学校でのGISを活用した安全マップ作りのモデル地区2校は、昨年度も実施いただいた周陽地区・遠石地区の2校です。今年度も継続して実施すると伺っています。

(会長)

- ・ 出張診療は非常に重要な取組であるというご指摘ですし、皆さん同意していただけることと思いますが、こういう事業含めて今年度全部で19の事業をここに挙

げさせていただきます。19 という数字で出していただくと、先ほどから数値とか参加者の数とかいろいろお話出ていますが、今年スマートシティに関して19の事業を協議会で議論しながら進めていくということを決められれば、というようなことだろうと思います。

- 皆さん、19の事業に意識を集中していただいて、実効力を高めていくということを仕組み化と同時に進めていければと思いますのでよろしく願いいたします。
- 今年度の市の取組についてオブザーバーからもコメントをお願いします。

(オブザーバー)

- 取組の中でごみ処理の話であるとか、窓口のところについては県も市と一緒にうまくいく仕組みを、というところで進めさせていただいているところです。
- 取組としては課題解決に向けてということで進んでいっしょるので、数も多く進んでいっしょるというところでよろしいかなと思っています。
- 仕組みの話もデジタルだと思いますが、デジタルでやる取組は小さな成功体験を積み上げていくことがとても重要だと思っています。住民の皆さんの声であるとか、協議会の皆さんのお力を借りながら小さな課題を解決して、住民の皆さんに価値を提供して、さらにそれを効果比較していくという取組が重要じゃないかなと思いますので、引き続き県も一緒になってやっていければと思っている次第です。

(会長)

- 小さな成功体験とはいえ19個も成功が積み重なれば大きな動きになると思います。そういう1年にしていったらどうかというアドバイスだと思います。

(オブザーバー)

- ドローンの活用、河川等水位の監視などは現場の工事では実際にほぼ100%というくらいで使っています。メリットがあることは建設現場においては証明されておりまして、実際に省人化・効率化、非常に役に立つことがわかっております。これが一般市民の方にも利用できるようになれば、もしくは災害時にはとても有効な取組であると思っています。
- 出張診療は、おそらく医師が出張することもなくなると思います。オンライン診療という形に将来的にはなっていくと思いますのでどんどん進めて、成功体験をどんどん積むべきだと思っています。
- スポレパークでは緑地事業の運営を開始していますが、スポーツ施設の予約システムを導入しています。過渡期は問合せが多数ありましたが、数か月たつと皆さ

ん問題なく予約システムを使っています。慣れていらっしゃる方が多いので継続するだけで利用者が増える案件じゃないかと思っています。

(会長)

- ・ 継続することで効果が出たり、民間の建設現場で使っているものも含めて参考になるコメントであったと思います。市の中にある情報だけではない情報も使いながら19の事業を成功に向けて飛躍するような1年の事業にしていただければと思います。
- ・ さらに具体的な取組となる資料3から資料5の事業の内容について、事務局から連続して説明いただければと思います。

(事務局)

- ・ 資料3から資料5については連続してご説明をさせていただきますが、資料3については都市政策課職員よりご説明をさせていただきます。

(都市政策課)

(地理空間情報利用推進事業について説明)

(事務局)

- ・ 資料4については環境政策課及びリサイクル推進課職員よりご説明をさせていただきます。

(環境政策課)

(ごみ拾い SNS とごみ分布状況の可視化の活用について説明)

- ・ 前回の協議会で、野犬のえさやりを見ることのできるクラウド型防犯カメラを設置したという取組を取り上げていただいたと聞いております。その際に、成果についてお尋ねがあったということですので、ここでご説明させていただきます。  
(野犬のえさやりに対するクラウド型防犯カメラの成果について説明)

(事務局)

- ・ 資料5についてご説明いたします。  
(窓口業務改革について説明)

(会長)

- ・ 今までは、地元からのボトムアップ型のスマートシティの取組の話が多かったと思いますが、都市計画の話は国土交通省で進めているプラトールを使ったまちづく

りの基盤づくりの話です。私も流域治水などで使ったことがあります非常に重要なツールですので、周南市でも普及を図っていただけたらと思います。

- ごみの関係のピリカはすでに千人を超える方が参加しておられますので、人数もすぐ確認できるという取組も含めて、周南の中でもどんどん普及をはかっていってもらえたらと思います。
- 窓口やオンライン申請サービスの拡充は一丁目一番地、周南市としてできる取組ということですので、市民・行政職員双方に win-win となる仕組みだと思えます。ぜひ 19 の事業の中でも中心的な取組として成功に向けて頑張っていただきたい取組ではないかと思えます。
- 3つの取組に関してでも全体を通してでも構いませんがご意見がある委員がいらっしやればお願いします。

(委員)

- 今から進めていくという案件もずいぶんあるようですし、これらが実際に進めていけたら非常に良くなるんじゃないかと思えます。余談ですが、JRなどが何かの影響でストップした場合、案内としてホームページをご覧くださいとされますが、高齢者などはホームページを見られない方もいらっしやいます。オンライン化が進む中で弱者をどうカバーしていくかが一番問題ではないかと思えます。周陽地区も高齢化が進んでおり、パソコンを持っていない人、スマホを持っていらっしやらない方もいらっしやいます。そういう方に対しても区別なく対応していただけるような仕組みをつくっていくべきじゃないかと考えています。

(会長)

- まずは1歩も2歩も進めながら、使えない方の気持ちも汲み取りながら進めていくことが大変重要だと思います。

(委員)

- 地理空間システムやごみの可視化のシステムはすでにあるシステムを利用されるようにお聞きしました。窓口業務については令和6年度から実施とのことですので、これもどこかのシステムを利用されるのでしょうか。わかる範囲で教えていただければと思います。

(会長)

- 事務局いかがでしょうか。

(事務局)

- ・ 窓口 DX サービスについても、オンライン申請サービスについても令和 6 年度中の導入を考えています。具体的な部分は検討中のところもございますので、実際に導入となった際には皆様に周知させていただき、ご報告させていただきたいと考えています。

(委員)

- ・ 6 年度も始まっているので、どのぐらいの進捗かと思い確認させていただいたところでは、
- ・ 資料 2 の 12 ページの表で、その他総合の概要欄の記載は資料 2 を参照ではなく資料 1 を参照でよかったですか。

(事務局)

- ・ 資料 1 で間違いございません。口頭ではありますが、この場で訂正させていただきます。

(委員)

- ・ ごみ拾い SNS は先ほど説明があったとおり、ツリー祭りの会場の一斉清掃で、ごみ拾い SNS を広めるということでそこで一緒にやらせていただいたものです。商工会議所の職員も出て清掃に参加するとともに、SNS についても事業者から説明を受けて使い方も大体わかってきたところです。
- ・ 商工会議所は月に 1 回第 3 水曜日に朝 7 時半から清掃活動を行っています。その時も投稿を定期的に行っていると思いますが、街中にはごみが意外と落ちていたりします。ごみ拾い SNS に関してはもっと有効活用できそうなので、もう少し周知ができれば面白いかなと思いました。

(会長)

- ・ ごみの話は身近な話なので、いろんな方の意見とかも聞きながら、さらに加速していくようなこととか、もっとこういう使い方があるよというところも取り込んでいけたらと思います。

(委員)

- ・ 3D 都市モデルの広島市の場合は、アプリのようなもので自動的に変換されるものなのででしょうか。

(都市政策課)

- 国土交通省の作業手順に従って作られています。国土交通省のプラトービューで閲覧するとこの形で表示できるようになっています。

(委員)

- この形で見するには高さ情報をもった地図を作らないといけないということだと思いますが、高さ情報をもった地図を作る作業はそれほど大変なことではなく、システムなどが存在するという認識でよろしいでしょうか。

(都市政策課)

- 高さ情報については既存のシステムなどがありますので、面的に付与して立ち上げるようになっております。

(委員)

- 受付等業務の改善にAIが使えたらいいかなと思ったのですが、サービスにおいてどのようにAIを対応させるかというところでいろいろ工夫が必要そうだと思います。そういうところで、自動化することの目標のようなものはありますか。

(事務局)

- 窓口業務におけるAI等を使った自動化、目標についてお尋ねがあったと思います。窓口に限らないのですが、市としてAIをどう活用していくかは実証もしながら検討している段階です。それはいわゆる対話型の生成AIになりますが、窓口においてもそういったものを使って職員と来庁者とのやり取りを自動化できると思っています。実証をしながらどういう使い方ができるかを検討している段階ですので、その中でAIを使って、必要な書類が何かとか、どういう手続きが必要なのかを自動で応答させることは、今後検討していく必要はあると思っています。何年までにとという目標は現状ありませんが、AIの活用については市としても検討を進めているという状況です。

(委員)

- 窓口DXサービスの導入はどんどんやってほしいと思っています。市役所でシステムを入れて活用しているとなれば大学としてもシステムを入れやすくなっているのではないかと考えています。

(会長)

- ・ 皆様、積極的な意見をいただきありがとうございます。委員から AI の問題提起もあったように思います。今回 19 の事業が示されたということで、様々なレベル、タイプの事業が含まれていると思います。いずれもデータベースやセンシングが入っておりますので、一通りサービスが回るようなものになってきますと、いろいろなデータが溜まってきますので、当然ながら AI が処理できる余地も増えてくるということになるかと思えます。
- ・ 19 の事業が走り出してデータがたまってくる中で、データを使って AI を活用し、UX をより良いものにしていくというフィードバックがかけられるようなことを、事業も 19 ありますので、1 つ、2 つでも構いませんし、そういうものを加えて、周南市のスマートシティが進化していけるようなものにするような取組も、次年度になってしまうかもしれませんが、標榜しながら体系的なデータをストックして分析できるようなものにしていくというふうに努力していただくことが重要ではないかと思いました。
- ・ 事業については皆さんから賛同いただけたと思います。一方で、参加できない人はどうするのか、進捗の確認はきっちりしてほしいなど、これまでの社会実験等で確認してきたことを 19 の事業の中でも横展開していける成果があったと思いますので、それを組み合わせながら成功に導いていけるようモデル地区の事業とあわせて、19 の事業を頑張っていければと思います。

(事務局)

- ・ 皆様、本日は貴重なご意見ありがとうございました。
- ・ 参考資料についてご説明をさせていただきます。
- ・ 昨年度、周陽小学校及び遠石小学校で実施いたしました安全マップの可視化につきまして、子どもたちが作成したデータを山口県オープンデータカタログサイトに掲載いたしました。もっと地域の方にも知っていただきたい、誰かの役にたつと良いという子供たちの想いをデジタルという手段で 1 つの形にできたのではないかと考えています。授業時とは利用ソフトが異なるため、作成時と見え方は異なります。
- ・ 周南市スマートシティ推進シンポジウムのアーカイブ配信を 6 月末まで行っています。連携を大きなテーマとして、周南市で取り組むと良いことについてもディスカッションいただきました。
- ・ 次回第 11 回の周南市スマートシティ推進協議会については、秋ごろの開催を予定しています。正式な日時が確定次第ご連絡させていただきますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

6. 閉会

(事務局)

- ・ 以上で第10回周南市スマートシティ推進協議会を閉会します。

以上